

平成28年度近畿部会第134回例会を下記のとおり開催します。今例会は、ワークショップの形式で、定員8名の事前申込み制（先着順）となっております。参加を希望される方は、裏面の参加申込書にご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。会員以外の方でも参加は可能です。積極的なご参加をお待ちしております。

ワークショップのお知らせ（近畿部会第134回例会）

■と き 平成28年8月20日（土） 午後1時30分～4時30分

■ところ 京都府綴喜郡宇治田原町 郷之口会館 2階会議室

集合場所 近鉄新田辺駅改札前（当日、係員が案内表示します）

集合時間 同日正午

アクセス 集合場所から京阪バスで1時間弱の移動を行います

交通費 バス運賃 片道440円を用意いたします

※車で直接現地集合していただいても結構です

（次頁参照「宇治田原町郷之口会館」でYahoo 地図検索して下さい）

■テーマ 「体験してみよう！ よその現場」

■講師 島津良子 氏 （全史料協近畿部会会員）

■内容 収蔵箱数 100 箱以上の郷之口区有文書の調査作業（蔵出しからPC データの構築、報告書編集まで）を通じて大量文書の現場処理技術を学ぶ

今回は、一点特定の方法、大量撮影の方法、PC データ構築などを体験していただきます。



区有文書調査作業のためのワークショップ
参加申込書

氏名 (フリガナ)	
住所	
電話番号	
所属	
会員	会員 通信会員 非会員

FAX送信先 : 075-791-9466

京都府立総合資料館内

全史料協近畿部会事務局 紀氏(きし)宛

※先着順8名までで締め切らせていただきます。

※申込状況について、電話でお問い合わせいただいても結構です。

第133回例会報告

日 時：平成28年6月14日（火）14時40分～

場 所：京都府立総合資料館2階 会議室

参加者：26名

全史料協近畿部会第133回例会は、京都府立総合資料館2階会議室にて、近畿部会平成28年度総会後に開催された。

岡山県立記録資料館の館長であり、全史料協副会長である定兼学氏に「岡山県率記録資料館開館10周年 ―それでも初志は変わらず―」のタイトルでご講演いただいた。

氏は、岡山県立記録資料館設立前から、岡山県史編さん事業を進めながら岡山県の公文書館設立の正面に立ち活動されており、実質的な収集・保存活動を地道にされてきた。しかし、岡山県立記録資料館は開館に至るまで、基本計画まで策定されながらも延期となるなど、さまざまな紆余曲折を経て、当初の計画から約10年遅れ、旧国立岡山病院跡地の小児病棟を改修する形で平成17年9月7日に開館し、昨年度10周年を迎えられた。

その後、少ない職員ながらも工夫と熱意により、積極的な公文書・古文書・写真資料など垣根の無い史料の収集、他館との連携によるデータベースの公開、幅広い展示・講座活動、さまざまな人を巻き込んだボランティア活動などが続けられているということを楽しみ語り口でお話いただいた。岡山県立記録資料館の職員の皆さんと結束と熱意を持って前に進まれていることが強く感じられた。

講演後、多くの方からさまざまな質問が出され、そのつど丁寧にご回答いただいた。講師に感謝を申し上げたい。

（運営委員 金原 祐樹）

今後の例会予定

第135回例会 9～10月 「大阪における公文書館活動報告」（仮） 詳細未定

第136回例会 11月16日（水） 「公文書の価値」（仮題）

（予定） 講師 井口和起 氏（京都府立総合資料館顧問）

場所 滋賀県（滋賀県庁）

第137回例会 12月～1月 「歴史資料保存利用機関とボランティアの共働」

講師 尼崎市立地域研究史料館・徳島県立文書館職員

場所 尼崎市総合文化センター

第138回例会 3月頃 ワークショップ（史料保存・第132回例会の続編）

講師 大林賢太郎 氏（京都造形芸術大学）

場所 京都造形芸術大学

※第138回例会は事前申込み制となる予定です。